

35th ANNIVERSARY  
YEG 青年部だより

# 革進

第103号

令和5年度  
八戸商工会議所青年部スローガン

**原点回帰**  
～活用できる YEGへの革進～

令和5年度  
**通常総会  
記念講演・懇親会**

5月24日、八戸プラザホテルにて令和5年度通常総会・記念講演・懇親会を開催しました。

通常総会は、松橋会長体制における初年度の総会であり、議案として令和4年度事業報告並びに収支決算について報告され、令和5年度事業計画(案)並びに収支予算(案)については会長所信発表、専務理事並びに各委員長、及び事務局より事業計画等の説明がなされ、全議案が可決承認され滞りなく閉会しました。

続いて、総会後の記念講演では、八戸商工会議所会頭であり、当青年部の8代会長である武輪俊彦氏に「YEGで得られるもの、商工会議所・YEGの役割」と題して講演をいただきました。講演の中では、商工会議所や商工会及び青年会議所との違いや、青年部時代に注力した東北ブロック大会八戸大会誘致開催等の活動、八戸商工会議所の新たな取り組みである「は

ちのへ活性化プロジェクト」の説明、当青年部の提言活動に対する助言等をいただくとともに、当青年部の今後の更なる活発な活動に対する熱い期待が伝えられました。

また、懇親会においては、八戸市長の熊谷雄一氏をはじめ多数の来賓にご臨席いただき、当青年部会員との交流・懇親が図られるなど、盛会裏に終了することができました。

専務理事補佐  
田村 武智

コーチング・エイト  
**令和5年度 会長所信**

**スローガン**  
**原点回帰**  
活用できる  
YEGへの革進

八戸商工会議所青年部(以下、八戸YEG)は、昭和62年10月13日に地域経済の振興と商工会議所活動の活性化に寄与する目的で設立されました。

私が八戸YEGに入会してから10年目となりますが、八戸YEG

設立前年の頃に生まれた私が尚早にこの八戸YEGの会長という大役を仰せ付かるにあたり知らないことはまだまだ多く、この機会に改めて歴史記念誌を拝読しました。その中の、「青年経済人の集団なのだから、個々の企業が長期的に成長し、将来大きな利益を出せるような事業を行おう。結果として地域経済が発展する。」という発想であった、という村井初代会長のお言葉がとても印象に残り、地域をつくる経済人として八戸YEGが何をすべきか、どうあるべきかを考えさせられるきっかけとなりました。

私は八戸YEG入会以来、青森県YEGや東北ブロックYEGで委員長という役目を経験できる機会を与えていただけたことで幅広い人脈を築くことができ、多くの地域のYEGメンバーの素晴らしい活躍を目の当たりにすることができました。また、YEGはそもそも政策提言団体であるということや、八戸YEGも政策提言を絶対にするべきだと実感してきました。

現職の八戸市長は八戸YEGのOBでもあられます。自分たちの商売のための政策提言はもとより、これまで以上に官民の連携を強めていくことでよりよい郷土づくりに貢献し、八戸YEGという団体の存在意義を会員だけではなく地域の方々にも知ってもらうべきです。そのために、私がこれまでの出向経

験で得てきたものを今まさに地元でアウトプットできるチャンスがきたのだと考えています。

今年度は政策提言事業の他、効果的な情報発信を行う広報事業やビジネスに特化した交流事業、国際化を意識したまちづくり事業など、35周年ビジョンで掲げたテーマに基づいて事業を展開してまいります。

目指すべき未来に向かってひたすら走り続けてきた八戸YEGですが、時には立ち止まり、後ろを振り返り、足元を確認することで気づきを得ることや、進むべき方向を今一度見定めて確実な一歩を踏み出すことも大切なことです。20周年のビジョン策定の際にも出てきた思想ですが、それから15年経った今また、これまで八戸YEGが積み上げてきた歴史から、持ち続けるべき不変なもの、手放していないもの、形を変えるべきものを見つめ直す時期に来ていると感じます。そして、八戸YEG会員一人ひとりが活用できる団体、さらには地域の皆様に必要とされるYEGへと革進するために、目まぐるしく変遷し常に困難が立ちはだかっているこの時代の中で先見の明を持ち、皆が八戸YEGの在り方を創造しながら行動に移すことのできる組織づくりを目指します。

八戸商工会議所青年部  
会長 松橋 里実  
(株)松橋不動産

令和5年度  
全委員会  
合同委員会

4月19日、八戸商工会館にて令和5年度の全委員会による合同委員会が開催されました。



冒頭、各委員会に分かれ担当事業について協議されたのち、今年度新設された広報企画・政策局(政策提言委員会、広報・会員育成委員会)、まちづくり・交流局(ビジネス活性化委員会、まちづくり委員会)の局会議も開催され、今後は局設置の目的でもある委員会の枠を超えた交流と連携が図っていただけるものと思います。

また、今回の合同委員会ではエンジンタッチの回答率100%も達成し、多くのメンバーに参加いただきましたが、新たな組織となりましたが、新たな気持ちで松橋会長が掲げるスローガン「活用できるY E G」を目指し素晴らしいスタートを切ることができました。

専務理事

田中 健悦

(株)フォリウム

専務理事・委員長の抱負



◆会務班  
専務理事 田中 健悦  
(株)フォリウム

本年度より専務理事を仰せつかりました田中です。専務理事は八戸Y E Gで初めておかれた役職になります。専務理事補佐、事務局と共に八戸Y E Gの事業がより円滑かつ活発に推進されるように各委員会と連携をとりながら運営してまいります。松橋会長が本年度目指す、会員一人ひとりが活用でき、地域に必要とされるY E Gへの革進に向け、組織を活性化できるように努めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



◆政策提言委員会  
委員長 岡本 信也  
(株)アイティコワーク

今年度より、松橋会長の下、政策提言を事業として取り組むこととなりました。

事業として取り組むのは青年部として初めてで、不安も大きく、模索しながら進めることになるかと思いますが、政策提言事業は青年部活動ならではの事業となりますので、私達のより良い未来を

現するため、メンバーと意見交換を行い、市、親会とも連携をしながら活動していきたいと思えます。2年間よろしくお願い致します。



◆広報・会員育成委員会  
委員長 小野澤匡洋  
(有)朝日堂

広報・会員育成委員会の委員長を仰せつかりました小野澤です。当委員会ではHPの更新や青年部

だよりの発行、新入会員向けの勉強会や交流会の企画、SNSによる情報発信を主な活動としております。各委員会活動の情報発信のサポートにも携われると思いますので情報の提供をお待ちしております。私自身特別デジタルに強いわけではございませんが、これを機に委員会メンバーと共に出来るオトコに成長していきたいと思えます。



◆ビジネス活性化委員会  
委員長 工藤 大地  
(株)ノザワ

このたびビジネス活性化委員長を務めることになりました工藤大地です。

ビジネス活性化委員会では、交流の輪を広げそれぞれのビジネス

の活性化に繋げるために活動して参ります。スポーツ交流・他青年団体との交流・市民交流を知る、知ってもらう機会として、ビジネスマッチングやリクルートなどに繋げたいと考えております。

ビジネスの活性化には、まずは互いのことを知ることが最も重要であり、それには参加して頂くことが必要です。皆様にはご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。



◆まちづくり委員会  
委員長 豊巻 真悟  
(株)豊巻建設

まちづくり委員会の委員長を仰せつかりました豊巻です。当委員会では、4年ぶり開催となるカッターレース大会、湊地区の冬の閑散期ににぎわいを作り出す館鼻ツリーイルミネーション、そしてあらたな試みの青空マーケットの3つの事業を軸に活動していきます。それぞれの事業が地域に根付き、地域に必要とされる事業へと躍進していくことを目標に、委員会メンバー全員で目標達成に向け邁進して参ります。2年間精一杯頑張っていきますので、ご支援ご協力の程、よろしくお願い致します。



# NEW FACE

## 新入会員紹介

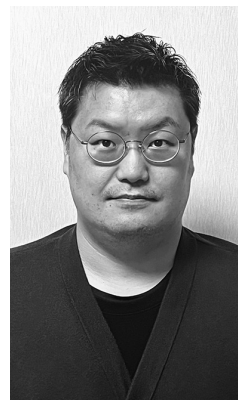


ビジネス活性化委員会

有限会社ギフトの小笠原

常務取締役 小笠原 美香

下長にある贈答品販売店で、冠婚葬祭にまつわるギフト品や中元・歳暮の季節商品、名入れタオルカレンダーや粗品関係の企業販促品、赤ちゃんの御祝・内祝、お病氣お怪我の御見舞い・快気祝い、記念品などの取扱いがあります。今月は9月にある敬老の日に向けた商品それぞれ地域の民生委員の方と打ち合わせをして準備をしています。サービス提供分野が多岐に渡りますので、得意分野は一言で「既製ギフト品の枠を超えた提案」です。何でもご相談承ります!!



まちづくり委員会

八戸通運株式会社

陸運部 自動車営業所

所長代理 葛西 孝弘

八戸市は現在、高速自動車道八戸線、三陸沿岸道路などの幹線道路や、全国有数の漁業基地であり国際貿易港でもある八戸港、近郊では三沢空港など、陸・海・空いづれのご要望にも対応できる北東北の物流拠点として発展を続けています。弊社は総合物流会社として創立80年の伝統と経験を生かして顧客第一の立場にたち、更にはモーダルシフトの導入やリサイクル事業の推進など現代社会のニーズにも積極的に応えることで、充分満足いただけるサービス提供に努めております。



広報・会員育成委員会

株式会社吉田産業 八戸支店

建築課建設第一グループリーダー

小笠原 豪

①入会のきっかけ  
ある方のお話を聞き、八戸に住み暮らす者として、地域経済に関与する皆様方と交流を深め、自分の成長に繋がったと思いい入会しました。  
②休日の過ごし方  
家に居る場合は、子供と遊んでいます。時間があればたまに、昔やっていた自転車に乗ることもありますが、ほんとごく稀です。  
③会社PR  
八戸にて建築工事を請け負う仕事をしています。建物の事で何かあればご相談下さい。  
④メンバーへ一言  
なかなかお時間合わず出席出来ておりませんが、できる限り頑張りますので何卒宜しくお願いします。



政策提言委員会

ウェルネスワーク株式会社

代表取締役 西尾 和樹

この度、桑原監事にご紹介いただき、入会させていただきました。埼玉県出身で、縁あって八戸市に住み始めて10年となります。

現在、社会保険労務士として、企業における人事・労務、職場環境のサポートを行う中で、「働きながら健康になる職場づくり（ウェルネスワーク）」をコンセプトに、具体的な取り組みのアドバイスを行っています。  
入会して、まだ日も浅いですが、人との出会いが新しいチャンスとの出会いであることを実感しています。どうぞよろしくお願いたします。



### 第1回 観光委員会

5月10日に第1回の観光委員会に出席してきました。八戸商工会議所の「はちのへ活性化プロジェクト」内の委員会で、コロナ禍から回復傾向にある観光産業による地域活性化について各分野の専門家の意見集約をし、経済波及効果の創出に取り組むことが目的です。食・交通・宿泊など多岐にわたる専門家の皆様との意見交換のなか、いち商業者では思いつかない観光資源の使い方や、大変興味深い貴重なお話を沢山聞くことが出来ました。2年間の任期のなかでどれだけ貢献できるかはわかりませんが、地域経済の回復に少しでも協力できるように、微力ながらも寄与していきたいと思えます。

広報・会員育成委員会  
委員長 小野澤匡洋

(有朝日堂)

### 日本 YEG 全国会長会議

4月28日、東京會館において全国の単会会長や県連会長、ブロック会長などを対象とした令和5年度全国会長会議が開催されました。4時間半にわたる会議では、木村麻子日本YEG会長と日本商



工会議所の小林健会頭による対談や日本YEGの掲げる『SDGs・人と自然の持続可能な共生社会推進』『デジタル社会の実現(DX推進)』『男女共同参画推進』について、各地での取り組みの状況や実施例などについてのディスカッションを行いました。懇親会でもフードロスをなくすよう取り組みなど、学びの多い会議でした。

八戸YEG 会長 松橋 里実  
(株)松橋不動産

### 東北 YEG 通常総会

5月13日、岩手県一関市において、令和5年度東北ブロックYEGの通常総会が開催されました。冒頭では昨年度策定された東北ブロックYEG中期ビジョン2023-2026の唱和も行われ、コロナ禍も終息し、より前向きな活動ができることに期待を寄せながら総会が始まりました。今年度東北ブロックYEG会長を務める一関YEGの山本郷君が議長

となり、令和4年度事業報告並びに収支決算や令和5年度補正予算について審議されました。東北ブロック6県連45単会の単会会長の満場一致による承認が得られ、無事に終了することができました。

八戸YEG 会長 松橋 里実  
(株)松橋不動産



### 青森県 YEG 通常総会

5月20日、川村祐樹青森県連会長の御膝下である青森市において、令和5年度青森県連第1回役員会および通常総会が開催されました。通常総会では令和4年度事業報告並びに収支決算、令和5年度補正予算、そして令和5年度役員(案)という三つの審議案件について無事承認がなされ、本格的なスタートを切りました。懇親会では、桑原富美一委員長率いる未来健康交流委員会による、健康をテーマにした体を動かすアクティビティがあり、楽しく交流することができました。

青森県YEG副会長  
八戸YEG 会長 松橋 里実  
(株)松橋不動産

### Aライン協議会 通常総会

6月3日、秋田県能代市にて令和5年度Aライン協議会通常総会が開催され、八戸からは私を含む4名で出席して参りました。総会前に能代の空き店舗や空き家を活用した取り組みを視察し、総会では1号議案・令和4年度事業報告並びに収支決算、第2号議案・令和5年度事業計画案並びに収支予算案、共に満場一致で可決承認され、鈴木隆宏会長(能代YEG)のもと令和5年度体制がスタートしました。今年度は新たな事業として「のしろみなど祭り」への出店も決定しました。

Aライン協議会 副会長  
八戸YEG専務理事補佐  
大川 慶人 (株)寿屋

### 編集後記

より良い誌面づくりのためにご意見等ございましたら、よろしくお願ひ致します。

広報・会員育成委員会  
副委員長 小田 正徳  
(株)オダプリント